

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13031	3	後期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	食品流通論 (Food Distribution)				
担当教員名	野口 敬夫				
授業の概要及び到達目標					
<p>食品の流れをフードシステムと捉え、そのフードシステムの構成主体や全体の構造的特徴を解説する。具体的には、食料を取り巻く国際政治経済的環境や日本の食料需給動向を踏まえ、日本の食生活の変化、食品の製造から卸売・小売に至る過程の各主体や、これら主体間の取引関係を概説する。講義全体を通じて、安全・安心な食生活を確保・維持するために必要な食品流通の知識や考え方を身につけることを、ねらいとしたい。</p>					
準備学習等					
<p>第 1 回：シラバスを読み、この講義で何を学ぶことができるか考える（予習 1 時間）。  第 2 回：食料自給率の低下と日本の食料安全保障問題について調べてみること  （予習 1 時間）。  第 3 回：日本の農畜産業の特徴を調べてみること（予習 1 時間）。  第 4 回：JA（農業協同組合）とは何かについて調べておくこと（予習 1 時間）。  第 5 回：テキストの製造業と卸売・小売業の部分を読み内容を理解しておくこと。  第 6 回：テキストの外食・中食産業の部分を読み、内容を理解しておくこと（予習 1 時間）。  第 7 回：卸売・小売業、外食・中食業のポイントを復習しておくこと（復習 1 時間）。  第 8 回：テキストの食生活の変化の部分を読み、内容を理解しておくこと（予習 1 時間）。  第 9 回：フードシステムの概念を調べてみること。テキストのフードマーケティングの部分を読み、内容を理解しておくこと（予習 1 時間）。  第 10 回：テキストの環境・食品安全問題の部分を読み、内容を理解しておくこと  （予習 1 時間）。  第 11 回：多国籍アグリビジネスの課題について調べておくこと（予習 1 時間）。  第 12 回：フェアトレードとは何かについて調べてみること（予習 1 時間）。  第 13 回：GATT や WTO と農産物貿易について調べておくこと（予習 1 時間）。  第 14 回：FTA・EPA や TPP と日本の農産物貿易について調べておくこと（予習 1 時間）。  第 15 回：これまでの講義を見直して、食品流通における課題を考えてみること（予習 1 時間）</p>					
成績評価の方法	食品流通に対する理解度を確認するための定期試験 90%、また、それに対する受講生自身の見解を確認するためのレポートを 10%とし、その合算で評価する。				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義資料を毎回配布する。</li> <li>日本フードスペシャリスト協会編 『三訂版 食品の消費と流通』（建帛社、2016 年、ISBN- 9784767905389）</li> </ul>				

参考図書	藤島 廣二/安部 新一/宮部 和幸/岩崎 邦彦『食料・農産物流通論』 (筑波書房, 2012年, ISBN: 978-4-8119-0345-3)
備考	授業中の私語を慎むこと。 オフィスアワー (授業終了後教室で質問を受け付ける。) 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図で確認すること。
授 業 計 画	
<p>第 1 回：食品流通論の課題</p> <p>第 2 回：日本における食のグローバル化と食料自給率の低下</p> <p>第 3 回：フードシステムの源流①—農業経営・農村—</p> <p>第 4 回：フードシステムの源流②—農業協同組合—</p> <p>第 5 回：食品流通における製造業と卸売・小売業</p> <p>第 6 回：食品流通チャネルの多様化と外食・中食産業</p> <p>第 7 回：食品流通における『卸売・小売業』『外食・中食業』</p> <p>第 8 回：日本経済の発展と食生活の変化—食の洋風化・外部化—</p> <p>第 9 回：フードシステムの特質とフードビジネス・マーケティング</p> <p>第 10 回：食品流通を取り巻く環境・食品安全問題と食品企業対応</p> <p>第 11 回：グローバル化と多国籍アグリビジネス</p> <p>第 12 回：開発途上国における食料問題と食品流通の再構築—フェアトレードの取組み—</p> <p>第 13 回：食品流通を取り巻く国際環境 (1) —GATT 設立～WTO 農業交渉—</p> <p>第 14 回：食品流通を取り巻く国際環境 (2) —FTA・EPA の展開—</p> <p>第 15 回：総括—日本の食料供給体制と食品流通の展望—</p>	